

## 公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費(千円)
社会資本整備総合交付金事業	(主)吉田大東線	島田市～牧之原市	船木～坂部	バイパス整備	1,400,000
防災・安全交付金事業	(一)南伊豆松崎線	南伊豆町	下小野	歩道整備	55,000
防災・安全交付金事業	(主)三島裾野線	三島市	徳倉	歩道整備	151,000
防災・安全交付金事業	(一)大富藤枝線	焼津市	中新田	歩道整備	35,000
防災・安全交付金事業	(一)伊久美元島田線	島田市	大草 他	歩行空間整備	10,000
防災・安全交付金事業	(一)富士宮富士公園線	富士宮市	大宮町	歩道整備	67,000
防災・安全交付金事業	(国)414号	下田市	河内	新立野橋 橋脚補強工	230,000
防災・安全交付金事業	(国)414号	下田市	落合	落合橋 落橋防止工	11,000
防災・安全交付金事業	(国)135号	伊東市	新井	大洞2号橋 橋脚補強工	73,000
防災・安全交付金事業	(国)135号	熱海市	熱海	曾我浦大橋 橋脚補強工	470,000
防災・安全交付金事業	(国)135号	熱海市	伊豆山	伊豆山1号棧道橋 橋脚補強工	54,000
防災・安全交付金事業	(国)136号	伊豆市	上船原	根合橋 支取替工	65,000
防災・安全交付金事業	(国)136号	伊豆市	上船原	鷹の巣棧道橋 支取替工	29,000
防災・安全交付金事業	(国)136号	伊豆の国市	小坂	長岡第4高架橋 橋脚補強工	575,000
防災・安全交付金事業	(国)414号	伊豆の国市	小坂	大門橋 橋脚補強工	300,000
防災・安全交付金事業	(国)414号	伊豆市	湯ヶ島	新与市坂橋 落橋防止工	20,000
防災・安全交付金事業	(国)150号	牧之原市	相良	相良橋 橋脚補強工	250,000
防災・安全交付金事業	(国)362号	川根本町	東藤川	平溝橋 落橋防止工	180,000
防災・安全交付金事業	(国)362号	川根本町	東藤川	馬路大橋 橋脚補強工	200,000
防災・安全交付金事業	(主)伊東西伊豆線	西伊豆町	一色	一色橋 橋脚補強工	115,000
防災・安全交付金事業	(主)富士宮芝川線	富士宮市	羽鮒	羽鮒高架橋 橋脚補強工	201,000
防災・安全交付金事業	(一)水神田子浦港線	富士市	宮島	早川橋 落橋防止工	17,000
防災・安全交付金事業	(主)三島裾野線	三島市	徳倉	徳倉橋 支取替工	80,000
防災・安全交付金事業	(主)三島裾野線	三島市	萩	富士見橋 橋脚補強工	97,000
防災・安全交付金事業	(一)駿河小山停車場線	小山町	小山	富士見橋 橋脚補強工	70,000
防災・安全交付金事業	(一)沼津小山線	御殿場市	神山	岩神橋 橋脚補強工	145,000
防災・安全交付金事業	(主)熱海函南線	函南町	畑	第1丹那橋 橋脚補強工	125,000
防災・安全交付金事業	(主)島田川根線	島田市	鶺鴒	鶺鴒棧道橋 支取替工	65,000
防災・安全交付金事業	(一)島田岡部線	島田市	御仮屋町	析山橋 橋脚補強工	100,000
防災・安全交付金事業	(主)川根寸又峡線	川根本町	千頭	川根大橋歩道橋 橋脚補強工	60,000
防災・安全交付金事業	(主)袋井春野線	森町	城下	元開橋 橋脚補強工	70,000
防災・安全交付金事業	(主)袋井春野線	袋井市	堀越	横手橋 支取替工	60,000
防災・安全交付金事業	(主)袋井大須賀線	袋井市	山崎	小笠橋 落橋防止工	20,000
防災・安全交付金事業	(主)焼津森線	掛川市	西山	西山橋 橋脚補強工	158,000
防災・安全交付金事業	(主)相良大須賀線	菊川市	大石	生仁場橋 橋脚補強工	282,000
防災・安全交付金事業	(一)磐田山梨線	磐田市	笠梅	小藪川橋 橋脚補強工	330,000
防災・安全交付金事業	(主)浜北袋井線	磐田市	大当所	梨の木橋 橋脚補強工	59,000
防災・安全交付金事業	(国)136号	伊豆市	松ヶ瀬	柿木橋 橋梁補修工	82,000
防災・安全交付金事業	(国)150号	吉田町	大幡	井乃口側道橋 橋梁補修工	4,800
防災・安全交付金事業	(国)150号	吉田町	片岡	東橋側道橋 橋梁補修工	3,200
防災・安全交付金事業	(国)150号	牧之原市	波津	樋尻橋 橋梁補修工	1,800
防災・安全交付金事業	(国)469号	富士市	大淵	新砂沢橋 橋梁補修工	10,000



事業名： 社会資本整備総合交付金（道路改築）事業

路線名： （主）吉田大東線（南原工区）

### 1 事業概要

全体事業費：	C=1,400 百万円
計画期間：	平成 28 年度～平成 34 年度
計画概要：	バイパス（L=1,675m、W=11.0m）

### 2 目的・必要性

<p>当該路線は榛原郡吉田町天幡を起点とし、掛川市中方を終点とする路線延長 27.8 km の路線である。</p> <p>現道区間は大型車の交通量が多く、路肩が狭く歩道もないため歩行者が危険に晒されている。また、平成 25 年に主要地方道島田吉田線のはばたき橋が開通したことにより、それにつながる島田市道南原線に流入する車両が増え、通勤時間帯の渋滞や交通事故が発生している。</p> <p>これらの課題を解決するとともに、藤枝市街地や東名高速道路吉田 IC から富士山静岡空港、牧之原市街地へのアクセスを向上させるため、島田市船木から牧之原市坂部に至る延長 L=1.675 km についてバイパスを整備する。</p>
--

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	自動車交通量 1000 台/日以上	1 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	地域の主要拠点（藤枝市街地）から交通結節点へのアクセス道路（富士山静岡空港）	2 A
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	バス路線の定時性改善に資する道路	1 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	事業着手検討会議において着手判断済の箇所	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	費用対効果 2.0 以上	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	地元住民と協働で事業計画するなど、十分に合意形成済	3 A
計			1 0 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名：防災・安全交付金（交通安全）事業

路線名：一般県道 南伊豆松崎線（南伊豆町下小野）

### 1 事業概要

全体事業費：	55百万円
計画期間：	平成28年度～平成30年度
計画概要：	歩道整備 L = 20m

### 2 目的・必要性

本事業は、県道南伊豆松崎線（南伊豆町下小野）の歩行空間整備である。当該区間は、南上小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、通学路合同点検における要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	通学路の合同点検結果に基づく要対策箇所	1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内で事業完了・歩車道分離が可能、かつ、歩行空間の連続性が確保可能	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			1 S 7 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業（交通安全）

路線名： 主要地方道 三島裾野線（三島市徳倉）

### 1 事業概要

全体事業費：	151百万円
計画期間：	平成28年度から平成29年度
計画概要：	歩道整備 L = 40m

### 2 目的・必要性

本事業は、県道三島裾野線（三島市梅名）の歩行空間整備である。当該区間は、徳倉小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、通学路合同点検における要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・歩行者交通量	5 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検・事業着手準備制度	2 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	2 A
計			2 S 1 0 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業（交通安全）

路線名： 一般県道 大富藤枝線（焼津市中新田）

## 1 事業概要

全体事業費：	35百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩道整備 L = 35 m

## 2 目的・必要性

本事業は、県道大富藤枝線（焼津市中新田）の歩行空間整備である。当該区間は、大富小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、通学路合同点検における要対策箇所となっている。このため、歩道整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量・歩行者交通量	6 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業効果・事業期間	4 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み	2 A
計			1 S 1 2 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業（交通安全）

路線名： 一般県道 伊久美元島田線（島田市大草）

### 1 事業概要

全体事業費：	10百万円
計画期間：	平成28年度
計画概要：	歩行空間整備N=2箇所

### 2 目的・必要性

本事業は、県道伊久美元島田線（島田市大草他）の歩行空間整備である。当該箇所は、大津小学校の通学路となっているが歩道が未整備であることから、通学路合同点検における要対策箇所となっている。このため、歩行空間整備を行い、歩行者及び児童の交通安全対策を図るものである。

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	通学路指定・自動車交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	通学路合同点検	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み	2 A
計			1 S 9 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名： 防災・安全交付金事業（交通安全）

路線名： 一般県道 富士宮富士公園線（富士宮市大宮町）

### 1 事業概要

全体事業費：	67百万円
計画期間：	平成28年度から平成29年度
計画概要：	歩道整備 L = 230m

### 2 目的・必要性

本事業は、県道富士宮富士公園線（富士宮市大宮町）の歩行空間整備である。当該区間は、富士宮浅間大社に近接することで歩行者が多く、さらに近隣に富士山世界遺産センターの建設が計画されていることから、歩道の拡幅が必要とされている。このため、歩道整備を行い、歩行者の交通安全対策を図るものである。

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	自動車交通量・歩行者交通量	4 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性	関連事業	1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	事業期間・事業効果	3 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地補償の見込み・地元の熟度	1 A
計			2 S 8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)414号 下田市河内(新立野橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	230,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国)414号は、静岡県下田市から伊豆市を經由し、沼津市に至る伊豆半島中央を縦断する主要幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)414号 下田市落合(落合橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	11,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	落橋防止工

## 2 目的・必要性

(国)414号は、静岡県下田市から伊豆市を經由し、沼津市に至る伊豆半島中央を縦断する主要幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上にある橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：平成2年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)135号 伊東市新井(大洞2号橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	73,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国) 135号は、下田市を起点として神奈川県小田原市に至る主要幹線道路であり、静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)135号 熱海市熱海(曾我浦大橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	470,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国) 135号は、下田市を起点として神奈川県小田原市に至る主要幹線道路であり、静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)135号 熱海市伊豆山(伊豆山1号栈道橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	54,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国) 135号は、下田市を起点として神奈川県小田原市に至る主要幹線道路であり、静岡県地域防災計画において、第1次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」より前 (適用道路橋示方書：昭和31年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)136号 伊豆市上船原(根合橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	65,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	支承取替工

## 2 目的・必要性

(国) 136号は、下田市を起点として三島市に至る主要幹線道路であり、静岡県  
の地域防災計画において、第1次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷  
の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上  
を図るとともに、経年変化等により劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、  
長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高い みちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみ ちづくり		
	多様な交流や経済活動を 支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援 するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環 境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 S 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)136号 伊豆市上船原(鷹の巣棧道橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	29,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	支承取替工

## 2 目的・必要性

(国) 136号は、下田市を起点として三島市に至る主要幹線道路であり、静岡県内の地域防災計画において、第1次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)136号 伊豆の国市小坂(長岡第4高架橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	575,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国) 136号は、下田市を起点として三島市に至る主要幹線道路であり、静岡県内の地域防災計画において、第1次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)414号 伊豆の国市小坂(大門橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	300,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

<p>(国) 4 1 4 号は、下田市を起点として沼津市に至る主要幹線道路である。          本事業の対象橋梁は、大規模地震への十分な耐震性能が確保されておらず、          また、経年劣化による損傷が確認され、重大な損傷の恐れがあることから、必          要な補修・耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (橋長 100m以上の長大橋)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	橋長 100m以上の長大橋 (橋長 240.9m)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 31 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
 (橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)414号 伊豆市湯ヶ島(新与市坂橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	20,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	落橋防止工

## 2 目的・必要性

(国)414号は、静岡県下田市から伊豆市を經由し、沼津市に至る伊豆半島中央を縦断する主要幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)150号 牧之原市相良(相良橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	250,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国)150号は、静岡県静岡市から浜松市に至る主要幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第1次緊急輸送路として指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：平成 6 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)362号 川根本町東藤川(平溝橋) 橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	180,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	落橋防止工

## 2 目的・必要性

(国)362号は、愛知県豊川市から静岡県葵区に至る主要幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第2次緊急輸送路として指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (2次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (2次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：昭和55年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)362号 川根本町東藤川(馬路大橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	200,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(国)362号は、愛知県豊川市から静岡県葵区に至る主要幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第2次緊急輸送路として指定されている重要な路線である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (2次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (2次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：平成 2 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)伊東西伊豆線 西伊豆町一色(一色橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	115,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(主)伊東西伊豆線は伊東市を起点とし、伊豆市を通り賀茂郡西伊豆町を結ぶ重要な幹線道路であると共に、近隣住民にとっての重要な生活道路である。

本橋梁は昭和 36 年に建設されており、昭和 31 年の道路橋示方書を適用しているため必要な耐震性能を有しておらずまた、経年劣化による損傷も発生している。このため必要な補修・耐震補強を実施する。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当(橋脚を有する橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	橋脚を有する橋梁(2 径間)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前(適用道路橋示方書：昭和 31 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)富士宮芝川線 富士宮市羽鮎(羽鮎高架橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	201,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(主)富士宮芝川線は、静岡県富士宮市西町を起点とし富士宮市羽鮎に至る地域の生活基盤道路であるとともに、東海地震の地震防災対策強化地域の第1次緊急輸送路に指定された重要な路線である。

羽鮎高架橋は、JR 身延線や(主)富士川身延線を跨ぐ橋梁であるが、大規模地震時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な補修、耐震対策を実施して、緊急輸送路としての機能向上を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：平成 6 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)水神田子浦港線 富士市宮島(早川橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	17,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	落橋防止工

## 2 目的・必要性

(一) 水神田子の浦港線は、静岡県富士市水神から田子の浦港に至る交通量の多い幹線道路である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年変化等により劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重量路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (6,460 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 42 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)三島裾野線 三島市徳倉(徳倉橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	80,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	支承取替工

## 2 目的・必要性

<p>(主) 三島裾野線は、静岡県三島市から裾野市に至る交通量の多い幹線道路である。</p> <p>本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (17,707 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 14 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)三島裾野線 三島市萩(富士見橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	97,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(主) 三島裾野線は、静岡県三島市から裾野市に至る交通量の多い幹線道路である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (17,707 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 14 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)駿河小山停車場線 小山町小山(富士見橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	70,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(一) 駿河小山停車場線は、小山町小山を起点とし、(一) 沼津小山線に至る交通量の多い幹線道路である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (8,631 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 39 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)沼津小山線 御殿場市神山(岩神橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	145,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(一) 沼津小山線は、静岡県沼津市から小山町に至る交通量の多い幹線道路である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年変化等により、劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (14,145 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 14 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)熱海函南線 函南町畑(第1丹那橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	125,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(主)熱海函南線は、熱海市中央町を起点とし田方郡函南町間宮に至る主要幹線道路であり、静岡県地域防災計画において第1次緊急輸送路として位置付けられている。

本橋梁は、昭和47年に架橋された橋梁であり、昭和55年以前の道路橋示方書を適用していることから、耐震補強を実施し、地震時の機能確保を図る。また、経年劣化によりコンクリート等部材に損傷が生じているため補修を行い機能回復する。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」より前 (適用道路橋示方書：昭和39年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)島田川根線 島田市鶴網(鶴網棧道橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	65,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	支承取替工

## 2 目的・必要性

(主)島田川根線は、島田市本通一丁目を起点とし同市川根町身成に至る主要幹線道路であり、静岡県地域防災計画において第3次緊急輸送路に指定されている。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (3次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (3次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和55年」以降「平成8年」より前 (適用道路橋示方書：平成6年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度(執行の環境)		
計			

※ A 評価(通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価(優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)島田岡部線 島田市御仮屋町(栢山橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	100,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(一) 島田岡部線は、島田市佐代鹿を起点とし藤枝市岡部に至る幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において第 2 次緊急輸送路に指定されている。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (2 次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (2 次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：大正 15 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)川根寸又峡線 川根本町千頭(川根大橋歩道橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	60,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

<p>(主) 島田川根線は、島田市川根町笹間渡を起点とし川根本町千頭に至る幹線道路であり、静岡県地域防災計画において第 2 次緊急輸送路に指定されている。</p> <p>本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。</p>
--

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (2次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (2次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)袋井春野線 森町城下(元開橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	70,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(主)袋井春野線は、袋井市久能を起点とし、浜松市天竜区春野町に至る幹線道路であり、静岡県地域防災計画において第 2 次緊急輸送路に指定されている。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (2次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (2次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)袋井春野線 袋井市堀越(横手橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	60,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	支承取替工

## 2 目的・必要性

(主)袋井春野線は、袋井市久能を起点とし、浜松市天竜区春野町に至る幹線道路であり、静岡県地域防災計画において第1次緊急輸送路に指定されている。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (1次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (1次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主) 袋井大須賀線 袋井市山崎(小笠橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	20,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	落橋防止工

## 2 目的・必要性

<p>(主) 袋井大須賀線は、袋井市を起点とし、掛川市に至る幹線道路であり、静岡県 の地域防災計画において第 2 次緊急輸送路に指定されている。</p> <p>本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施して緊急輸送路としての機能向上を図るとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路に該当 (2 次緊急輸送路)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	緊急輸送路上の橋梁 (2 次緊急輸送路)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」以降「平成 8 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 55 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)焼津森線 掛川市西山(西山橋) 橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	158,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

<p>(主) 焼津森線は、焼津市を起点とし、森町に至る幹線道路である。</p> <p>本橋梁は、橋長 100m以上の長大橋であり、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (橋長 100m以上の長大橋)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	橋長 100m以上の長大橋 (橋長 101.2m)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 47 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)相良大須賀線 菊川市大石(生仁場橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	282,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

<p>(主) 相良大須賀線は、牧之原市を起点とし、掛川市に至る幹線道路である。</p> <p>本橋梁は、橋長 100m以上の長大橋であり、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (橋長 100m以上の長大橋)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	橋長 100m以上の長大橋 (橋長 128.3m)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 42 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)磐田山梨線 磐田市笠梅(小薮川橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	330,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 31 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

<p>(一) 磐田山梨線は、磐田市を起点とし、袋井市に至る交通量の多い幹線道路である。</p> <p>本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。</p>
--

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重要路線上の橋梁 (7,721 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)浜北袋井線 磐田市大当所(梨の木橋)橋梁耐震

## 1 事業概要

全体事業費：	59,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	橋脚補強工

## 2 目的・必要性

(主)浜北袋井線は、浜松市を起点とし、袋井市に至る交通量の多い幹線道路である。

本橋梁は、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、必要な耐震対策を実施するとともに、経年劣化等による部材の劣化・損傷が進行しているため修繕を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路以外の重要路線に該当 (交通量が多い重要路線上の橋梁)	○
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	交通量が多い重量路線上の橋梁 (17,252 台/日)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	「昭和 55 年」より前 (適用道路橋示方書：昭和 42 年)	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)136号 伊豆市松ヶ瀬(柿木橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	82,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 136 号」は、静岡県下田市から静岡県三島市に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 38 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による鋼橋主桁及びコンクリート橋主桁等の劣化がみられることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ Δ (管理限界値 HI=60)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)150号 吉田町大幡(井乃口側道橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	4,800 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 150 号」は、静岡県静岡市から静岡県浜松市に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 38 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による床版の劣化がみられることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ C (管理限界値 HI=40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)150号 吉田町片岡(東橋側道橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	3,200 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 150 号」は、静岡県静岡市から静岡県浜松市に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 52 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による床版の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県中長期管理計画管理グループ C (管理限界値 H I = 40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)150号 牧之原市波津(樋尻橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	1,800 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

<p>「一般国道 150 号」は、静岡県静岡市から静岡県浜松市に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 30 年に架設された橋梁であり、経年劣化等によるコンクリート橋主桁等の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。</p>
---

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ A <sup>1</sup> (管理限界値 HI=40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)469号 富士市大淵(新砂沢橋)橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	10,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 469 号」は、静岡県御殿場市から山梨県南巨摩郡南部町に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 55 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による鋼橋上部の塗装の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ A (管理限界値 HI=60)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)469号 富士宮市山宮(新水神橋)橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	4,840 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 469 号」は、静岡県御殿場市から山梨県南巨摩郡南部町に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、平成 5 年に架設された橋梁であり、経年劣化等によるコンクリート橋主桁及び下部工躯体の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ A <sup>+</sup> (管理限界値 HI=40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)469号 富士宮市山宮(湯沢橋)橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	12,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 469 号」は、静岡県御殿場市から山梨県南巨摩郡南部町に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、平成 5 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による鋼橋上部の塗装の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ A (管理限界値 HI=60)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(国)473号 牧之原市波津(小堤橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	1,500 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般国道 473 号」は、愛知県蒲郡市から静岡県牧之原市に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 46 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による床版等の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ A <sup>1</sup> (管理限界値 HI=40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)浜松御前崎自転車道線 掛川市千浜(潮騒橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	70,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般県道浜松御前崎自転車道線」は、静岡県浜松市から静岡県御前崎市に至る大規模自転車道に位置付けられている自転車専用道路である。本橋梁は、平成7年に架設された橋梁であり、経年劣化等による高欄の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ B (管理限界値 H I = 40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(一)須津東田子浦停車場線 富士市中里(広沼橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	20,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「一般県道須津東田子浦停車場線」は、静岡県富士市須津を起点とし、静岡県富士市のJR東田子浦駅に至る道路である。本橋梁は、昭和54年に架設された橋梁であり、経年劣化等による鋼橋上部の塗装の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり		
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け	橋梁中長期管理計画管理グループ B (管理限界値 HI=40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度 (執行の環境)		
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)熱海函南線 函南町畑(新山橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	50,000 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「主要地方道熱海函南線」は、静岡県熱海市から静岡県田方郡函南町に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 2 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和 46 年に架設された橋梁であり、経年劣化等による床版等の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ A (管理限界値 HI=60)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金

路線名：(主)掛川浜岡線 菊川市下平川(明治橋) 橋梁補修

## 1 事業概要

全体事業費：	38,100 千円
計画期間：	平成 28 年度
計画概要：	橋梁補修工

## 2 目的・必要性

「主要地方道掛川浜岡線」は、静岡県掛川市から静岡県御前崎市に至る道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路に指定されている重要な路線である。本橋梁は、昭和36年に架設された橋梁であり、経年劣化等による鋼橋上部の塗装の劣化があることから橋梁補修を実施し、長寿命化を図る。

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	-	
	安全な生活を実現するみちづくり	静岡県橋梁中長期管理計画に基づく事業実施箇所	○
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	-	
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	-	
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	-	
重要性	既存計画への位置付け	静岡県橋梁中長期管理計画管理グループ C (管理限界値 HI=40)	○
緊急性	速やかな事業着手の必要性	橋梁点検 診断：Ⅲ	○
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	-	
熟度	事業の熟度 (執行の環境)	-	
計			

※ A 評価 (通常評価)：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価 (優先度評価)：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
(橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による)

事業名：防災・安全交付金（災害防除）

路線名：(国) 136 号

## 1 事業概要

全体事業費：	230,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	法面对策工

## 2 目的・必要性

第 1 次緊急輸送路上の道路防災点検要対策箇所の対策を実施し、緊急輸送路の信頼性を向上させる
--

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路の信頼性向上、災害への備え	9 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		
緊急性	速やかな事業着手の必要性		1 S
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		2 A
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（災害防除）

路線名：(国) 362 号

## 1 事業概要

全体事業費：	108,000 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 30 年度
計画概要：	法面对策工

## 2 目的・必要性

第 2 次緊急輸送路上の事前通行規制区間内の道路防災点検要対策箇所の対策を実施し、緊急輸送路の信頼性を向上させる

## 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路の信頼性向上、災害への備え	1 0 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		1 A
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）

事業名：防災・安全交付金（災害防除）

路線名：(国) 362 号

### 1 事業概要

全体事業費：	75,500 千円
計画期間：	平成 28 年度～平成 29 年度
計画概要：	法面对策工

### 2 目的・必要性

第 2 次緊急輸送路上の事前通行規制区間内の道路防災点検要対策箇所の対策を実施し、緊急輸送路の信頼性を向上させる

### 3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	緊急輸送路の信頼性向上、災害への備え	1 0 A
	安全な生活を実現するみちづくり		
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり		
	地域の生活と自立を支援するみちづくり		
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり		
重要性	既存計画への位置付け		1 S
緊急性	速やかな事業着手の必要性		
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		
熟度	事業の熟度（執行の環境）		1 A
計			

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの  
（橋梁耐震対策事業、橋梁補修事業は○による）